

生活のきまり

令和7年11月21日改正版

1 頭髪について

中学生らしく自然で清潔感があり、さわやかな髪型にする。

| | |
|-----|---|
| 全 体 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 極端な長さの刈り込み、奇抜で不自然な髪型にしない。 ○ パーマ、脱色・染色をしない。 ○ 無香料の整髪料は、寝ぐせ直し程度に使用してもよい。 ○ ゴム・ヘアピンの色は黒・紺・茶など、派手でないものにする。 |
| 前 髪 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然な状態で、目にかからない。 ○ ゴムで縛って前髪を上げない。（ヘアピン、パッチン留め可） |
| 横 髪 | ○ 学習の妨げになる場合、縛るか、留めるか、切る。 |
| 後ろ髪 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 肩にかかる場合、縛るか、留めるか、切る。 ○ 三つ編みや<u>シンプルなお団子ヘア</u>は良いが、不自然な編み込みはしない。<u>髪を縛る場合は、正面から見て後ろ髪が見えない位置とする。</u> |

2 服装・持ち物について

| 制服 | | 学生服タイプ | ブレザータイプ |
|-----|------|--|--|
| | 冬服 | ○ 黒色標準学生服（袖ボタン2個） ・認証マーク入り ○ 白カッターシャツ長袖 ・袖口はボタンで留める。 | ○ 学校指定の紺色標準ブレザー ○ 学校指定の棒タイ、ベスト着用 ○ 白丸襟ブラウス長袖 ・袖口はボタンで留める。 |
| | 合服 | ○ 白カッターシャツ長袖 ・袖を折る場合は肘が見えるようにする。 | ○ 白丸襟ブラウス長袖 ・袖を折る場合は肘が見えるようにする。 ○ 学校指定の棒タイ、ベスト着用 |
| | 夏服 | ○ 白カッターシャツ半袖または開襟シャツ | ○ 白丸襟ブラウス半袖 ○ 学校指定の棒タイ着用は任意 |
| | ボトムス | ○ ストレートタイプ ・認証マーク入り | ○ 学校指定の紺色スカート（膝頭程度の長さ）またはスラックス ・認証マーク入り |
| | ベルト | ○ ズボンまたはスラックスを着用する場合は無地のベルトを着用。 ・黒・茶色の皮または合皮で、幅2～3cm程度とする。 | |
| 肌 着 | | ○ 白、ベージュ、グレー、黒。ワンポイント可。 | |
| 体操服 | | ○ 学校指定のものとする。小学校のパンツを使用してもよい。 | |
| 靴 下 | | ○ 白、黒、紺、グレー。 ・ワンポイント・横ライン可。 ・縦ライン・ルーズソックス・ハイソックス不可。 ・くるぶし全体が隠れる長さとする。 ・横ライン入りは3本以下とし、色は靴下の色に準じた色にする。 | |

| | |
|-----|---|
| 靴 | ○ 白、黒、紺、グレーに準じた色が基調の運動靴。靴紐の色も同様。 ・ハイカット（くるぶしが出ていないシューズ）不可。 |
| 上 靴 | ○ 上靴は学校指定のものとする。 ・忘れた場合は、教員の許可を得てスリッパを使用する。 |
| 防 寒 | ○ 制服の下にセーターを着用してもよい。 ・裾や袖から出さないようにする。 ○ 登校後は、教室で防寒着を脱ぎ、ロッカーに片付ける。 ○ ロングコートは禁止とする。 ○ 防寒対策で、黒色のレギンス・タイツ・ストッキングを着用してもよい。その場合は靴下を着用する。ただし、体育の授業時は着用しない。 |
| その他 | ○ 化粧・マニキュア・ネックレス・ピアスなど、学習に不必要なものはしない。 ○ 眉毛を細くしない。 |

3 登下校について

| | |
|-----|--|
| | ○ 8:00までに自教室に入室できるようにする。（8:05を過ぎると遅刻） ○ 決められた通学路で登下校する。 |
| 自転車 | ○ ヘルメットを着用し、雨天時はカッパを着用する。 ・自転車は荷台と両足スタンドが必要。（原則荷物は荷台に縛る。） |
| バ ス | ○ 柳沢・田処の生徒はスクールバスを利用する。 ・喜多山地区の生徒は、冬季指定期間のみ利用可。 |

4 校内生活・校外生活について

| | |
|------|--|
| 部活動 | ○ 昼食（給食がない場合）は、技術室で食べる。弁当や飲料水（お茶、水、スポーツドリンク）を買ってもよい。 ○ 土・日曜日、祝祭日、長期休業中に自転車を使用してもよい。 ・自転車等の保険に加入し、自転車通学届を提出する。 ○ 登下校時の服装は体操服・制服・部活動の練習着とする。 |
| 校舎内 | ○ 非常階段やベランダは、非常の時以外使用しない。 ○ ロッカー室は、必要なとき以外は入らない。 |
| 持ち物 | ○ 黒の手さげ鞆、2WAYバッグを使用する。サブバッグは鞆に入らない場合のみ使用する。 ○ 持ち物には、必ず記名をする。 ○ 学習に不必要な物は持ってこない。 ・持ち物検査を実施することもある。不要品は保護者に返却する。 ○ 貴重品を持ってきた場合は、朝の会后、学級担任に預ける。 |
| 校外生活 | ○ 大洲市のきまり、交通ルールを守る。 |

5 頭髪や服装などによる個人的な申し出がある場合、保護者から学級担任に申し出て、個別に対応する。